



3-066R6G-00-01

日本ペイント株式会社
製品使用説明書

ニッペ ファイングラシィ S i クリヤー
磁器タイル用超低汚染形ターペン可溶 2 液形アクリルシリコン樹脂クリヤー

□ 特 長

- ・弱溶剤系であるため、臭気がマイルドで、下地を選ばずに塗装できます。
- ・耐汚染性、耐候性、光沢保持性が良く、耐アルカリ性、耐水性にもすぐれます。
- ・防藻・防かび機能があります。
- ・乾燥が速く、作業性にすぐれています。
- ・強固なシロキサン結合により、光沢低下が極めて少なく、高耐候性を発揮します
- ・化学結合により、陶器・磁器タイルと強靱に付着し、外壁タイルや目地部分を炭酸ガス、酸性雨、凍害から長期間保護します。

□ 塗 料 性 状

色		塗料液 (主剤)	硬化剤	
微白色		無色		
密度(g/cm ³)(23)		0.94		
光沢		つや有り、3分つや有り、5分つや有り		
引火点		41	41	
発火点		288 (参考値)	200 (参考値)	
消防法 表示	化学名	合成樹脂クリヤー塗料	合成樹脂クリヤー塗料	
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)	第4類 第2石油類(非水溶性)	
	危険物等級	III (火気厳禁)	III (火気厳禁)	
有機溶剤区分		第3種	第3種	
毒劇物表示		-	-	
有害物表示		-	ポリイソシアネート	
ホルムアルデヒド	登録(認証)番号	N02223		
放散等級	区分表示	F		
問合せ先		http://www.toryo.or.jp		
国連/指針番号		1263/128	1866/128	
環境性能	クロルリス	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず
	キシレン	1.3%	パラジクロロベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ダイアゾ	配合せず
	フェノール	配合せず	鉛	配合せず
TVOC		46.7%		

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

□ 塗 装 基 準

混 合：
荷 姿：
ポットライフ：
希 釈 剤：
塗 装 方 法：

2 液形のため、「塗料液(主剤)：硬化剤＝4：1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
15kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤＝12kg：3kg)、3kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤＝2.4kg：0.6kg)
6時間(23)
塗料用シンナー-A

塗 装 方 法	エアスプレー塗り	短毛ローラー塗り
希 釈 率	20～40%	0～10%
使 用 量	0.08～0.12kg/m ² /回	0.08～0.12kg/m ² /回

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

乾 燥 時 間：

	5～10	23	30
指 触 乾 燥	40分	20分	10分
塗 り 重 ね 乾 燥	4時間以上	4時間以上	3時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 特 記 事 項

- ・被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを置いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- ・つや調整品を使用の際、タイル目地部の吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化(つや消し剤のたまり)を生じることがありますので、タイル目地部に目地はけなどで下塗りを増し塗り、もしくは下塗りを2コートして吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。下塗りには必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- ・光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- ・つや調整品を使用する場合は下塗りに「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- ・塗装場所の気温が5 未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- ・大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイル、れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、試験施工により確認してください。
- ・目地部がぬれ色になるまで下塗りを塗装してください。
- ・やむを得ずローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに短毛ローラーを使用し、希釈率は0～10%で塗装してください。カラークリヤーを塗装する場合、色むら・吸い込みむらなどが発生する場合がありますので、スプレーで塗装してください。
- ・目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- ・目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- ・すでに旧塗膜がある場合は、縮み、はく離を生じることがありますので、ケレンしてから塗装してください。

□ 注 意 事 項

- ・つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- ・つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- ・つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- ・つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- ・防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- ・被塗物の構造、部位、塗装仕上がり形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- ・塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- ・所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合（高湿度、結露、降雨など）、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下するこ

とがあります。

- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- ・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。